**第２４回観察会　2005年３月24日(木) 12:15～12:55　晴れ**

**テーマ『植物園内に残る古代の遺跡』**

**☆ガイドレポート**

今回は、植物園内で発見されて、地上に保存している縄文時代の墳墓と、その周辺に残された数千年間の人々の活動の痕跡を、発掘調査の証拠から紹介してみました。縄文時代の炉をもった住居、樹木や堅果類が残された低湿地、弥生時代の水田、鎌倉時代の火葬塚、幕末の土佐藩下屋敷など、北部構内の地下に今も残る遺跡の様子を、写真資料によって説明しました。限られた時間でしたので、植物園の場所と遺跡の立地とが深い関係にあることなどについては、北大や東大の例などと共に触れた資料を配布しました。

ガイド：清水芳裕さん（京都大学埋蔵文化財研究センター）

[資料](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu24shiryo01.pdf)

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 毎日目にし、空気を吸っているこの植物園の全体の様子が、歴史の上で少し分かったように思います。いただいた資料も分かりやすく、ありがとうございました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球研　宮島敏明さん）
* これまでにも植物園内の遺跡について文章で、その存在を知ることはあったが、直接関わっていらっしゃる方にお話をきけてより身近にわかりやすく感じました。　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所にお住まいの学内のかた）
* 植物だけでなく、様々な研究、学習の場である植物園は大変興味深く貴重なものである。今回は構内の遺跡に関するものであったが、考古学のみならず地形発達の歴史や古環境・植生についてもおもしろい話が聞けた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（実名掲載可なのに無記名だったかた）
* 京都大学に遺跡があるとは・・・。興味深い。　　　　　　　　　　　（京大農学部学部生　飯塚弘明さん）
* 掘ったところをキチンと「残し」てあるのに感動しました。　　　　（地球研のかた）
* 小さい頃庭のようにして遊んだ農学部植物園、なつかしく見学させて頂きました。白川道の斜めの事もお聞きし、いろいろ知ることが出来て面白かったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（実家が近所で元京大関係者のかた）
* この周辺の昔の事を知ることができ、いろんな想像ができ面白かったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大理学部学部生のかた）
* 北白川周辺にもいろいろあるようで白川通から荒神橋当たりまでずっと続いていたとは、あまり歴史には強くないですが、住んでいる辺りの事には興味あり、大学の中の遺跡もまた探して見たいです。（近所のかた）
* 考古学の勉強になりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* とても楽しいお話でした。お話を聞いたあと、草をふんでたとしかられました。ふんだくらいでめげてしまうような草なら生きていけないと思いました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大理学部職員のかた）
* 京都の歴史の深さを知った。大学に自然を残す事は、将来の自然を考えるうえで、とても有効な方法だと思った。　　　　　　　　　（学外のかた）
* まだまだ知らない京都を見たかんじです。今、自分が立っている場所にどんな歴史があったのかを考えるのも楽しみをふくらませていいかも。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 京都大学の周辺でこのような遺跡がたくさん発掘されたことにおどろいた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（学外のかた）
* 説明が上手で、詳しくて、大変おもしろかった。　　　　　　　　　（近所のかた）
* 遺跡に興味があり、楽しかったです。　　　　　　　　　　　　　（学内のかた）
* めずらしい植物を見られて、探検気分で楽しかったです。　　　　（水野律子さん）
* どうくつみつけました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（みずのまるくさん）
* 今日は植物園の中にある遺跡のお話。植物園の新たな役割を知るよい機会だった。植物園は遺跡を保存する役割もになっているそうだ。むやみに建物が立たないから。いろんな役割をもっている植物園を大事にしてほしいと思う。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（瀧野佳洋子さん）